

第5回審議会委員意見の反映状況

資料3

●区分表示: 新反映⇒「委員意見を案へ新たに反映」 反映⇒「委員意見を素案段階で既に反映済」 その他⇒「記載はないが対応を図る」

委員意見	意見者	区分	頁	項目	反映状況
指針1 中小企業の経営力強化と創業の促進					
1 後継者の育成には時間がかかる。創業は雇用の創出につながるので、事業承継と結びつけるということも大事。	鴨田委員	その他	-	-	直接反映はしませんが、課内の創業担当と雇用担当が、分断することなく連携して施策展開をしていきます。
2 DXについては、取り残されないように相談窓口を充実してほしい。	鴨田委員	新反映	36	指針1方向性①	事業者の経営基盤強化として、「DX推進に関する情報発信の強化」を記載。
3 「社労士」という表記は略さず表記してほしい。	鴨田委員	新反映	36	指針1方向性①	ご指摘の通り「社会保険労務士」と記載。
4 「申請手続きのデジタル化について研究」とあるが、実施に動いてほしい。	鴨田委員	新反映	36	指針1方向性①	「庁内で検討を進めている電子契約・請求の動きと合わせて申請手続きのデジタル化を図る」と記載。対応可能な範囲内でデジタル化を実施し、円滑化・利便性の向上を図ります。
5 起業を目指している学生などの意見を聞ける仕組みを検討してほしい。	鴨田委員	新反映	37	指針1方向性③	「学生を対象としたビジネスコンテストや意見交換会の開催」と記載。
6 スタートアップオフィス数が足りないように感じる。	鴨田委員	その他	-	-	区直営の施設を増やすのではなく、区内に数多く所在するシェアオフィス、コワーキングスペースとの連携を強化することで、起業家支援につなげていきます。
指針2 持続可能な商店街に向けた活性化支援					
1 盛況な催事に商店街のお店を誘致してほしい。誘致することで売ためのアイデアだけでなく、街への愛着やお店同士のつながりを生むことができる。	河畑委員	その他	-	-	すでに行っているファーマーズマーケットやとしまMONOづくりメッセへの商店街ブース設置と合わせて、他事業でも誘致できるか検討します。
2 商店街の合併に言及されているが、合併することでそれぞれの特徴がなくなる恐れがある。商店街の活性化のために個々の店舗を強化していく点を入れてほしい。	羽生委員	新反映	39	指針2方向性③	「商店街の維持・発展」として、「各会員店舗の経営力強化を図る」を追記。
3 商店街を活性化するためには、まちづくりやまちとのかかわり方など街育て、客育てという視点もあつたらよい。	羽生委員	その他	-	-	今行っている商品券事業やイベント事業だけでなく、商店街を好きになり何度も利用してくれる顧客の確保のために、区としてできる支援を今後も検討していきます。
4 商店街の支援だけでなく、商店街サポートや改革人材への支援も検討しても良いのではないか。	阿部委員	その他	-	-	商店街だけでは解決できないことを支援できる人材を、東京都中小企業振興公社の取り組みと合わせて、効果的に活用できる仕組みを検討していきます。
指針3 これからの産業を支える人材の育成と多様な働き方の推進					
1 20～30代の方や3代目の人がお店を売却する選択ではなく、継ぎたいと思えるような街にならないといけない。	河畑委員	その他	-	-	指針にて言及はしませんが、今後実際に取り組む中で、若手事業者のニーズを重視した施策を検討します。
2 外国人労働者を安価な労働者としての活用だけでなく、高度人材や経営人材として招き入れて行くことが必要。また、P.18の働く人の多様性に外国人人材の分析を細かく入れてもよいのではないか。(国籍、就業の内容別など)	阿部委員	新反映	40	指針3方向性①	「事業者へ外国人高度人材を確保するための情報発信」を記載。後段の分析については、ご指摘の通りの分析を加筆することでより区の特徴がわかるものとなりますが、分析パートが膨大になってしまうことから今回の指針においては記載を見送らせていただきます。
3 豊島区からもそれぞれの産業(絵本作家など)で活躍されている人がいる。そのような人にスポットを当てた紹介を子供たちに行うことで、子供たちに産業面での未来を見せることができる。	岩田委員	新反映	40	指針3方向性②	「区内で活躍する人材と触れ合える職場見学会や意見交換会といった新たな取り組みを進め、若い人材の区内産業への理解向上を図ります。」と記載。
4 ふるさと納税の返礼品は「モノ」だけでなく「コト(体験)」もあるとよい。	鴨田委員 羽生委員	新反映	42	指針3方向性④	「ふるさと納税の返礼品として、工芸品や工芸体験をPRする」と記載。
5 中小企業は、価値を価格に転嫁できていない。大企業と違い広告宣伝費に大きな投資をできないので、そこを区に支援してほしい。例えば板橋区で導入している「働きがいのある会社大賞」のような表彰制度はどうか。	阿部委員	新反映	41	指針3方向性③	「健康経営優良法人」に加え、区独自策である「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」について記載。
6 「多様な労働力の活用」について、発信だけでなく区内中小企業団体等と連携して推進してほしい。	阿部委員	新反映	40	指針3方向性①	事業者への情報提供を「産業団体と連携しながら情報を発信」と記載。

委員意見		意見者	区分	頁	項目	反映状況
指針4 観光振興による地域社会・経済の好循環化						
1	ミュージアムラリーはとても良い取り組み。観光の取組と合わせてノベルティグッズを配布することなどで産業振興との融合も図れる。そこに学生などのアイデアを活用できるとより良い。	福田委員	その他	-	-	ミュージアムラリーを行い、ノベルティを配布したことで、多くの人が参加しました。各施設を回ることで、地域の街歩きが促進され、消費の拡大も見込まれ、産業振興にも寄与します。文化・観光においては、産学で連携して行っている事業もあるので検討していきます。
2	区HPやとしまテレビだけでなく、駅に観光情報や行政情報を目で見ることができるアナログの発信基地を整備しPRを行ってほしい。	遠藤委員	その他	-	-	駅の中には区で直接管理を行っている観光窓口はありませんが、各鉄道会社で観光窓口を設けているので、区や観光協会が発行しているパンフレットの配架を依頼するなど連携を強化してきます。
3	ウォーカブルの視点から、歩道や階段などにカロリー消費がわかるラッピングをするなど健康寿命を伸ばす取り組みを行ってはどうか。	笠井委員	その他	-	-	指針には直接記載いたしません、具体的にご提案として、福祉部門および保健部門へご意見を伝えさせていただきます。
4	池袋以外の魅力をどう見つけどう育てていくか。「地域の魅力・発見」では、豊島区の多様な魅力に触れてほしい。	羽生委員	新反映	43	指針4方向性①	豊島区の多彩な魅力について追記し、エリア別の魅力を磨き上げる視点から文章を修正。
5	地域ブランドで「マンガ・アニメ」とせず、マンガ・アニメを含んだクリエイティブ産業をそれぞれの街にどのように生かしていくかを書いてほしい。	羽生委員	新反映	43	指針4方向性①	「豊島区では、芸術・音楽などをはじめとするクリエイティブ産業が活発です。」と記載。
6	ユニバーサルツーリズムとなるとハード面の対策になりやすい。外国人の言語問題もバリアになるのでユニバーサルツーリズムを広くとらえてほしい。また、ウォーカブルとは切り離してほしい。	羽生委員	新反映	43	指針4方向性②	ご指摘の「外国人の言語問題」についても広義のバリアフリーと捉え、具体的に文章化しました。ウォーカブルについては、本項目からは切り離し、方向性①へ移行しております。
7	ウォーカブルについては、池袋だけでなく豊島区全体として記述してほしい。	羽生委員	新反映	43	指針4方向性①	「池袋をはじめとして街歩きで楽しめる「ウォーカブルなまち」を目指し、消費行動へもつなげていきます。」と追記しました。なお、コラムについては、現在区が進めている「ウォーカブル都市・池袋」の取組紹介という趣旨ですのでそのまま掲載しています。
8	商店街との融合の中身がマップに書き込むだけでは足りない。魅力的な商店街を創っていくことが第一。	羽生委員	新反映	44	指針4方向性③	マップに限らず、文化観光課が所有するWEBサイト「IKE-CIRCLE(イケ-サークル)」を活用し、商人まつりなどの活気あふれる商店街イベントについても取り上げるなど、観光部門と産業部門が連携し情報発信を強化することで魅力ある商店街につなげてまいります。
指針5 未来へつながる消費者市民社会の形成						
1	エシカル消費をより推進してほしい。	阿部委員	新反映	46	指針5方向性①	「エシカル消費の推進のため、区内事業者の社員向け研修などを対象とした出張講座を新たに開催します。」と記載。
2	第3章の6、(2)SDGsに関する取り組みについて、エシカル消費の動向と豊島区の取り組みなど追記してはかがか。	阿部委員	新反映	29	第3章 6豊島区の消費生活	エシカル消費動向については区レベルの分析データが無いため、実態調査の指標を掲載しています。また、豊島区の取り組みを分かりやすくするため、第2章に入れていたSDGsコラムを、ご指摘の箇所へ移動いたしました。

委員意見		意見者	区分	頁	項目	反映状況
その他						
1	産業振興は誰もが参加し盛り上げることができる。オールとしまで盛り上げることができるように推進できるとよい。	郭会長	その他	-	-	多くの人が一体となり盛り上げるためには、まずは指針について知っていただくことが最重要と考えています。後述いたしますが、周知の強化により実現を目指します。
2	自治体は、日々変わっていく街に対し細かい関心を持ったうえで、政策の立案をお願いしたい。	千野委員	その他	-	-	区では、街に出て、街を知り、街の人の話を聞き、政策立案を行うことを目指しています。今後の実行段階では、ご指摘の視点を区の大切な役割と認識し取り組んでいきます。
3	作った指針をどのように発信していくかを考えていかなければならない。	遠藤委員 神村委員	新反映	-	概要版	本編と比べわかりやすい言葉を使い、概要版を作成しました。事業者や関係団体に加え、学生なども手に取りやすい内容とし、今まで以上に多くの人に周知展開します(各団体や大学など、周知先の拡充も検討)。また、4月の広報としまにて概要版を含めた周知記事の掲載を予定しています。
4	国や東京都の動向に「ビジネスと人権」を、分析の中に「副都心の中で豊島区の立ち位置がわかるもの」をテーマにした記述を追加したらどうか。	阿部委員	その他	-	-	第2章及び第3章の分析パートについては、多岐にわたる分析から特徴あるものを掲載しています。ご指摘の通りの分析を加筆することでより区の特徴がわかるものとなりますが、分析パートが膨大になってしまうことから今回の指針においては記載を見送らせていただきます。
5	将来像の「進化した産業都市」に違和感を感じる。「産業都市」という言葉がものづくりの印象を強めてしまう。(例)「産業都市」の前にSDGs、生活文化、環境、サステイナブル、インクルーシブ等を入れる	阿部委員	その他	-	-	ご意見を基に会長と協議いたしました。他の委員からはご意見が出ていないこと、基本理念は端的で分かりやすい内容が良いということから、現状案とさせていただきます。
6	デジタル化が進む中でデジタル弱者に情報が届かないこともある。多様な形で情報発信してほしい。	加藤委員	その他	-	-	具体的にご提案と受け止め、今後の周知活動の際にデジタル弱者の視点を念頭に進めてまいります。
7	豊島区は男女平等やパートナーシップなどの制度が進んでいる。コラムなどでLGBTQの方にとっても住みやすい街とうたってもよい。	原田委員	その他	-	-	多様性については、他計画(第5次としま男女共同参画推進プラン)にて詳細を記載しているため、本指針への掲載は見送ります。
8	様々な取り組みが行われている中で、それぞれの取組のつながりを感じにくい。街の一体感をもう少し感じることができたら自分の街が明るくなる。	岩田委員	新反映	35 48	第4章 1産業振興指針の全体像 第5章 1指針の推進体制	指針の目標にキーワードとして「つながり」を盛り込むとともに、区の役割のひとつとしても明文化しました。
9	指針の中に豊島区をどのような街にしたいのかが書かれていない。	小寺委員	新反映	35	第4章 1産業振興指針の全体像、概要版	骨子案までは「基本理念」としてスローガンのみの記載でしたが、素案からはより具体的に「目指す姿」を記載しています。また、新たに分かりやすさを重視した概要版を作成いたしました。
10	PDCAサイクルを実際に取り組んでいく際にそれぞれを誰がやって、10年後どうしたいのかということを示す必要がある。	小寺委員	新反映	48	第5章 1指針の推進体制	行動の主体を図式化いたしました。
11	これから10年間の豊島区の姿はすべてが「バリアフリー」。障壁をなくす、バリアフリーの視点をもってすべての施策を行えば住みやすい街になる。	志村委員	新反映	35	第4章 1産業振興指針の全体像	第4章 指針の全体像のリード文に「あらゆる障壁をなくし、誰もが活躍できる、活気あふれるまちを実現」と記載。
12	指針はあくまでビジョンであり方向性。大事なものはアクションプラン。アクションプランで具体化しPDCAサイクルが回っていく。	郭会長	新反映	4	第1章 2指針の位置づけ	ご指摘のアクションプランについて明確にするため、「実際の実施計画としては「未来戦略推進プラン」を活用し、毎年度ローリングしながら事業を実施していきます。」と記載。
13	東京都や23区の景気動向を追記してはいかがか。	阿部委員	その他	-	-	区では四半期ごとに景況分析の報告書をまとめ、区HPIにて公開しています。本指針には景況状況は掲載しませんが、概要版に景況報告書のリンク先を掲載し、確認が容易になるように工夫いたします。
14	未来戦略推進プラン、豊島区基本計画、豊島区産業振興指針との関係を図示してはどうか。	阿部委員	新反映	4	第1章 2指針の位置づけ	指針の位置づけの部分に、最新情報に更新した図を入れました。
15	事業推進について、関係団体との協働体制を図示してはどうか。	阿部委員	新反映	49	第5章 2指針の進捗管理	「区内産業団体等の意見を聴取する機会を定期的に設定し、取り組みの方法や内容の適切な見直しを、継続的に行っていきます。」と記載。
16	当たるかどうかはわかりませんが、予測できるビジネス環境を前提として10年後のあるべき姿に向けて、思い切って記載してはどうか。 例)国際化⇒働く人やお客様が、今までの日本人だけでなく、仕入れ先も売り先も日本だけでなく、言語や商習慣もドメスティックではない 多様性⇒働く人が健康者男性だけでなく女性、身体・精神・知的障害者、高齢者、外国人など、フルタイムでなく短時間 副業(ダブルワーク)、会社だけでなく、自宅やサードプレイス	阿部委員	その他	-	-	ご指摘のようなビジネス環境の前提とあるべき姿を直接的にリンクさせた書き方はしていませんが、第2章・第3章の分析や「現状と課題の整理」の項目にて、現在および今後我々を取り巻くビジネス環境について触れております。そして、第4章では、前段の内容を前提として網羅的にあるべき姿や具体策を記載しております。指針としての全体のバランスを考慮しておりますので、ご理解いただければと思います。